

レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成26年4月4日		使用開始日		
登録診療科	乳腺外科		申請医師	小西	化学療法委員会承認年月 平成 26 年 6 月
レジメン名	パージェタ【初回】+トラスツズマブ【初回】+カペシタビン				
疾患名	乳がん(HER2陽性進行再発乳がん)		適応の備考	パージェタとトラスツズマブ両方が初回の患者1コース目の計画登録にはこれを用いる	
適応分類	進行・再発				
1コース日数	21	日間	総コース数	有効な限り	コース 催吐性リスク 軽度
抗がん剤投与量・投与日 〓パージェタ注840mg/body、トラスツズマブ注8mg/kg day1、カペシタビン錠day1-14					
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)					
投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21
1	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●
	点滴静注		/		
	ブライミング用				
2	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●
	点滴静注	パージェタ注	840 mg / body	60 分	●
	投与時間(初回投与)60分、(2回目以降)30分可				
3	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●
	点滴静注	トラスツズマブ	8 mg / kg	90 分	●
		注射用水100mL	1 本 / body		●
投与時間(初回投与)90分、(2回目以降)30分可					
4	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●
	点滴静注		/		
		カペシタビン	下記 錠 / body	朝夕 食後	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
	経口		/		
	1日2回朝夕食後 投与量は下記参照				

【投与上の注意】

このレジメンは、パージェタ・トラスツズマブ初回投与患者に使用する
トラスツズマブ: 初回投与時間は90分。初回投与時の忍容性が良好であれば、2回目以降は30分まで短縮できる。
パージェタ: 初回投与時間は60分。初回投与時の忍容性が良好であれば、2回目以降は30分まで短縮できる。

パージェタトラスツズマブ併用: 次回以降予定投与が遅れた場合、前回投与日から6週間未満の時はパージェタ420mg/bodyトラスツズマブ6mg/kgを投与する。6週間以上の時は改めてパージェタ840mg/bodyトラスツズマブ8mg/kgで投与。

カペシタビンの投与法はB法で行い、投与量は体表面積により決まる。

体表面積 1.33㎡未満	1回 1500mg/body(1日3000mg)	
1.33㎡～1.57㎡未満	1回 1800mg/body(1日3600mg)	
1.57㎡～1.81㎡未満	1回 2100mg/body(1日4200mg)	
1.81㎡以上	1回 2400mg/body(1日4800mg)	朝夕食後に服用